

人間総合科学研究群(人間)

前期_教育学学位プログラム

前期_心理学学位プログラム

前期_障害科学学位プログラム

※ 選考方法を確認してください。

科目の申請にあたっては、開設授業科目一覧の「申請条件」欄にかかわらず、ホームページ掲載の「選考方法について」を参照し、選考方法、面接までの流れを確認してください。

出願前に必ず教育組織に連絡し、面接日時等を確認してください。

| 学位プログラム名 | 受入有無 | 選考方法 | 面接者 | 面接日時（春学期） | 面接日時（秋学期） | 留意事項 | 連絡先 |
|---------------------|------|----------|--------|-----------|-----------|----------------------|--|
| 教育学学位プログラム（博士前期課程） | 有 | 書類審査及び面接 | 授業担当教員 | 随時行う | 随時行う | 履修目的を明確にすること | jimu-education-mp@un.tsukuba.ac.jp（次世代SP/国際SP） 029-853-6745(教育基礎科学SP) |
| 教育学学位プログラム（博士後期課程） | 無 | | | | | | |
| 心理学学位プログラム（博士前期課程） | 有 | 書類審査及び面接 | 授業担当教員 | 随時行う | 随時行う | 出願書類を提出する前に事前連絡をすること | 029-853-4597,人間系学系棟,A421 |
| 心理学学位プログラム（博士後期課程） | 無 | | | | | | |
| 障害科学学位プログラム（博士前期課程） | 有 | 書類審査及び面接 | 授業担当教員 | 随時行う | 随時行う | 出願書類を提出する前に事前連絡をすること | dscd@human.tsukuba.ac.jp |
| 障害科学学位プログラム（博士後期課程） | 無 | | | | | | |

教育学学位プログラム(博士前期課程)

専門基礎科目(教育基礎科学)

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時間 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 | 科目等履修生申請可否 | 申請条件 | 開設 |
|---------|--------------|------|-----|--------|--------|------|----|--------------|--|---|------------|------|--------------------|
| OATAA05 | 生涯学習・社会教育学特講 | 1 | 2.0 | 1・2 | 春AB | 火5,6 | | 上田 孝典 | 近年における社会教育・生涯学習をテーマとした最新の研究動向を理解し、基礎的な理論と方法を習得することを目指す。具体的には、社会教育・生涯学習をめぐる学習理論研究、歴史研究、法制度の改正を踏まえた政策動向、地方自治体における生涯学習行政、住民自治や市民活動の展開、社会教育施設をめぐる実践動向など、受講者の関心に基づいた先行研究を取り上げ、討議によって検討を行う。このことを通じて社会教育・生涯学習の研究的視点を習得し、幅広い知識と方法論を身に付ける。 | 教室：人間系学系B棟B415 | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAA08 | 教育制度学演習 | 2 | 2.0 | 1・2 | 通年 | 応談 | | 藤井 穂高 | 今日の我が国及び諸外国の教育改革における資質・能力論の現状とその理論的根拠について学術的研究に基づき説明できることを目標とする。具体的には、今日、我が国及び諸外国の教育政策において、資質・能力(コンピテンシー)論に基づく改革が主流となっておりつつある。そうした中で、現状の改革動向を踏まえたうえで、その理論的根拠がいかなるものかを、関係文献の読解を中心に検討する。具体的には、須藤正裕『「資質・能力」と学びのメカニズム』、国立教育政策研究所『資質・能力[理論編]』、OECDのキー・コンピテンシー論、グリフィン他『21世紀型スキル』とファデル他『21世紀の学習者と教育の4つの次元』である。 | 教室は人間系学系B棟B516 | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAA09 | 学校経営学特講 | 1 | 2.0 | 1・2 | 春AB秋AB | 集中 | | 安藤 知子, 柏木 智子 | 本授業の内容は、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の学校経営に関する理論と現代的課題について学び、学校経営に関する研究の成果と課題について討議をおこなう。まず、学校経営に関する基礎理論およびその歴史の展開過程を、代表的な文献の講読を通じて理解する。次いで、小学校・中学校・高等学校の学校経営についての政策と実践に関する様々な文献や調査報告書を参照しながら、現代的な課題について討議する。それらを踏まえて、これまでの学校経営研究の成果を確かめ、今後求められる研究課題について考える。 | 教室：人間系学系B棟B523/524 | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAA10 | 学校経営学演習 | 2 | 2.0 | 1・2 | 春AB秋AB | 木5 | | 佐藤 博志 | 「これからの学校、学級、学びはどのようにあるべきか。子どもの発達をどのように支援すればよいか。」このような問いから、学校経営、学校改善を中心としながらも、関連するトピックにも視野を広げて、共に学び、考える授業です。当然、学校が変わるためには、校長の役割だけでなく、国や自治体の教育行政の役割も大きいです。一方、学校におけるカリキュラム、教師の専門性や力量は重要なトピックです。本年度は、社会情動的学習とコンピテンシーの育成、ウェルビーイング、エージェンシーを着眼点として、様々な文献等を通して、学んで行く予定です。海外の動向にも目を向けて、同時に国内の実態にも着目し、教育学としての学びを深めていきます。 | 教室：人間系学系B棟B516 教育学学位プログラムのどのサブプログラムの学生の受講も歓迎します。授業の使用言語は日本語です。 | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAA12 | 比較・国際教育学演習 | 2 | 2.0 | 1・2 | 通年 | 応談 | | タスタンベコワ クアニシ | この授業では比較・国際教育学研究における諸理論を学び、研究の理論的枠組みの選定に関する理解を深める。比較・国際教育学研究における基礎理論、ポスト諸理論、理論的適応、インタディンプリナリ・アプローチなどの位置づけについて把握し、これらの諸理論の違いを理解する。具体的には「The Bloomsbury Handbook of Theory in Comparative and International Education」(Bloomsbury, 2021)を解説し、諸理論の知識を深め、英語での学術論文の書き方を学ぶ。 | 教室は人間系学系B棟B520 | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAA14 | 道徳教育学演習 | 2 | 2.0 | 1・2 | 通年 | 応談 | | 田中 マリア | 自らの関心のある課題を道徳教育学研究として掘り下げていくことを姿勢や能力の育成をめざす。具体的には、受講者の関心のある課題に関連した学術論文の中から道徳教育学研究として掘り下げていくこととする上で適していると思われる学術論文を各々選定し、相互に紹介し合う。受講者はこの作業を通して自己の関心のある課題に関する研究動向を把握するだけでなく、それらを道徳教育学研究の一系譜として掘り下げていくこととする意識や道徳教育学研究として掘り下げていく際の視点や論点、動向などを身につけていく。 | | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAA16 | カリキュラム論演習 | 2 | 2.0 | 1・2 | 通年 | 応談 | | 金 玟辰, 田中 怜 | 新しい教科の研究開発や教科再編を軸とした演習を通じ、カリキュラム開発に関する専門的理解を深めることを目標とする。いわゆるカリキュラムのユーザーからメーカー、ひいてはマネージャーへと、認識の移行や拡大を促し、この分野の知見を深めるねらいがある。具体的には、文部科学省の研究開発学校や教育課程特例校に代表される、各種研究開発の事例を検討し、その成果と課題にもとづいた新教科の研究開発を試みる。受講者による課題への取り組みと発表が中心となる予定である。 | | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAA17 | 教育方法学特講 | 1 | 2.0 | 1・2 | 春AB秋AB | 火2 | | 樋口 直宏 | 教育方法学に関する文献講読を通して、研究動向と課題について考察する。これらを通して、学習指導や授業分析に関する基礎的な知見を習得できるようになることを目標とする。具体的には、学習指導スキルに関する諸理論について、文献を読み進めながら発表および討議を行う。また、学校現場における授業観察や学習補助にも携わることへのぞまれる。これらの取り組みを通して、理論構築ならびに実践研究のデータ収集をあわせて行う。 | 教室は人間系学系B棟B410 | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAA18 | 教育方法学演習 | 2 | 2.0 | 1・2 | 春AB秋AB | 火6 | | 樋口 直宏 | 受講者各自の発表と討議を通して、教育方法学に関する理論的および実証的研究を行う。これらを通して、教育方法学および教職に関する応用的知見を習得できるようになることを目標とする。具体的には、授業分析および指導効果要因に関する理論等、受講者各自の関心のあるテーマについて、発表および討議を行う。また、学校現場やビデオにおける授業観察を取り入れ、授業分析の実践にも携わる。これらの取り組みを通じて、学校における実践方法についても習得できることを期待したい。 | 教室：人間系学系A棟A426 | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 | 科目等履修生申請可否 | 申請条件 | 開設 |
|---------|------------|------|-----|--------|---------|------|----|-------------------------------------|---|---|------------|---------|--------------------|
| OATAA19 | キャリア教育学特講 | 1 | 2.0 | 1・2 | 春AB秋AB | 随時 | | 藤田 晃之 | 今日のキャリア教育推進施策の特質と課題を明らかにすることを通して、今日の研究課題についての理解を深めることを目標とする。具体的には、キャリア教育に関する基礎的な理解を前提としつつ、今日のキャリア教育推進施策関連文書を読み解くことを通して、キャリア教育分野の研究課題を検討する。 | 教室：人間系学系B棟B520 | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAA20 | キャリア教育学演習 | 2 | 2.0 | 1・2 | 春C | 月3-6 | | 藤田 晃之 | 今日的な研究課題に関する理解を前提として、学校におけるすべての教育活動を通じたキャリア教育の実践の在り方について理解を深め、研究者としての力量形成を図ることを目標とする。 | 教室：人間系学系B棟B520 | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAA22 | 教育社会学演習 | 2 | 2.0 | 1・2 | 通年 | 応談 | | 徳永 智子 | 国内外の教育社会学や関連領域における理論・概念を学び、さまざまな教育現象を分析する視点や方法を身に着けることを目的とし、文献を読みながら、教育社会学研究の課題設定、問いの立て方、研究方法などについて学び、最終的には各受講者が学んだ視点や方法を取り入れた研究構想を発表する。具体的には、受講者の関心に合わせて、学校教育、教育問題、マイノリティと教育、グローバルゼーションと教育、教育政策など多様な研究領域の文献を読み、教育社会学研究の成果や課題を議論する。毎回、学生が文献に基づく報告をし、全員で討論する。 | 教室は人間系学系B棟B520(集中講義の教室は別途案内予定) | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAA23 | 高等教育論特講 | 1 | 2.0 | 1・2 | 通年 | 応談 | | 田中 正弘 | 授業のテーマは、大学改革である。日本の大学改革に関する代表的なテキスト講義を通して、現在の課題(教育改革や質保証の在り方、進学機会の拡大など)の解決方法を多国籍比較の観点から議論することである。授業の到達目標は次の3つである。 (1) 日本の大学制度の特徴を説明できる。 (2) 現在の課題を発見し、その課題が生じた理由を論じられる。 (3) 課題の解決方法を他国の制度をモデルに提示できる。 | 教室は人間系学系B棟B516 | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAA24 | 高等教育論演習 | 2 | 2.0 | 1・2 | 春AB秋AB | 木6 | | 田中 正弘 | 授業のテーマは、学歴・学力格差である。春学期は、学歴・学力格差に関するテキストの講義を通して、格差はなぜ、誰にどのような形で生じているかの理解を深める。そして、その格差を埋めためにどのような改革をすべきと考えられているのか、どのような改革がどのような結果をもたらしたのかについて、学生・教員を交えて議論する。秋学期は、個々の学生が現在の大学の課題をそれぞれ探求し、その課題が生じた理由を文献調査を踏まえて、レポートにまとめる訓練を行う。そして、最終レポートでは、独自に設定した課題の解決方法を他国の制度をモデルとして提示する。授業の到達目標は次の3つである。 (1) 日本の学歴・学力格差の特徴を説明できる。 (2) 学歴・学力格差の課題を発見し、その課題が生じた理由を論じられる。 (3) 課題の解決方法を他国の制度をモデルに提示できる。 | 教室は人間系学系B棟B523/524 | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAA25 | 特別活動学特講 | 1 | 2.0 | 1・2 | 通年 | 応談 | | 京免 徹雄 | 特別活動(学級・ホームルーム活動、児童会・生徒会活動、学校行事、クラブ活動)は、様々な集団活動に自主的・実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」のための資質・能力の育成を目指す取組である。特別活動を「対象」とした研究は、これまで少なくない(ただし多くない)蓄積があり、学級活動や生徒会活動といった個別の事象に対して教育学、歴史学、心理学、社会学といった様々な学問分野からアプローチが展開されてきた。しかし、特別活動を1つの体系的な学問として論じたものはないだろう。そこで本講義では、既存の実践や研究の成果をふまえて、特別活動を学問として成立させるための基盤について考えてみたい。特に特別活動が日本においてある意味「ガラハゴス」的に発展してきたことを鑑み、西洋とは異なる東洋の文化や価値の視点からその教育的意義を再評価することを試みる。キーワードは、「関係性の教育学」である。春学期は、「個と集団をめぐるメカニズム」をテーマに、主に学級活動・ホームルーム活動について扱う。秋学期は、「子どもの自治と民主主義」および「日常と非日常の関係」をテーマに、主に児童会活動・生徒会活動と学校行事について検討する。両学期とも前半は講義を行い、後半はテーマに沿った形でグループによる発表とディスカッションを行う。 | 教室は人間系学系B棟B520 | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAY01 | 社会の課題と教育政策 | 4 | 1.0 | 1・2 | 春C夏季休業中 | 応談 | | 古田 雄一、小松 孝太郎、名畑 真吾、勝田 光、唐木 清志、徳永 智子 | 地球規模課題の解決に向けての社会的な課題を検討するために必要な教育政策に関する基礎的事項について理解する。特に、現代社会における教育の役割及び教育政策の枠組みについて学ぶとともに、社会課題を解決するための教育政策と実践の具体的事例を知る。 | 英語で授業。オンライン(オンデマンド型)世界展開力事業CAMPUS-Asia6の参加学生のみを受講対象とする。英語で授業。 | △ | 履修許可者のみ | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時間 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 | 科目等履修生申請可否 | 申請条件 | 開設 |
|---------|-----------|------|-----|--------|---------|-----|----|--|---|---|------------|---------|--------------------|
| OATAY02 | 地球規模課題の実態 | 4 | 1.0 | 1・2 | 春C夏季休業中 | 応談 | | 山本 容子, 田中マリア, 國分 麻里, 辻村 真貴, 廣田 充, 内田 太郎, 中村 潤児 | この授業を通して、各国・各地が抱える地球規模課題を見つめる。まず、持続可能な開発目標(SDGs)をもとに、地球規模課題とは何かについて把握し、基本的な視点を共有する。その後、特に教育学、環境科学、物質科学の視点から、特に、人間・社会・国家間で生じる諸課題、自然環境と人間活動の間で生じる諸課題、新たな科学技術開発が必要な諸課題について検討する。 -教育学学位プログラム：人間・社会・国家間で生じる諸課題； -環境科学学位プログラム：水、生態系、災害・防災に関わる諸課題； -国際マテリアルズイノベーション学位プログラム：新たな科学技術開発が必要な諸課題 | 英語で授業。 オンライン(オンデマンド型) 世界展開力事業CAMPUS-Asia6の参加学生のみを受講対象とする。英語で授業。 | △ | 履修許可者のみ | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |

専門基礎科目(学校教育・SL)

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時間 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 | 科目等履修生申請可否 | 申請条件 | 開設 |
|---------|--------------|------|-----|--------|------|------|------------|-------|--|-------------------------------|------------|--------------------|----|
| OATAB02 | 学校心理学 | 1 | 2.0 | 1・2 | 春AB | 水1.2 | | 飯田 順子 | 授業の目標は、次の4つである。 1学校心理学の基礎概念について理解する。 2学校心理学が扱う領域に含まれる様々なトピックについて理解を深める(不登校、発達障害など)。 3学校心理学のなかで行われている最新の研究について学ぶ。 4心理教育的援助サービスの技法(アセスメント、カウンセリング、コンサルテーション)を学ぶ。 子どもが出会う問題状況の解決や成長の促進を目指す援助サービスの理論と実践を支える学問体系である学校心理学について、その理論や心理教育的援助サービスの実践について講義で学ぶと同時に、学校心理学の中心概念である「援助サービス」についてロールプレー等を交えて実践力を高める。 | 教室：8A202 対面(オンライン併用型) | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) | |
| OATAB03 | スクールリーダーシップ論 | 1 | 2.0 | 1・2 | 春AB | 月1.2 | 人間B523/524 | 加藤 崇英 | 小・中・高等学校・特別支援学校等を組織として捉えることの意味を理解し、学校組織の特徴を踏まえた有効なリーダーシップのあり方について理論的・実践的な知見を獲得することを目標とする。具体的には、現代の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等における学校経営の課題を学ぶとともに、最近の研究結果に基づいて、学校組織の特性を踏まえたリーダーシップのあり方について考察する。学校を「組織」として捉える意義と、組織としての学校の特性・独自性を確かめ、実践事例を検討することを通じて、学校経営の改善を推進するために有効なリーダーシップの条件について考えたい。 | 対面 | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) | |
| OATAB04 | 青年の発達 | 1 | 2.0 | 1・2 | 秋AB | 火1.2 | | 佐藤 有耕 | 授業の目標は、次の3つと発展的な目標になる。 1青年、青年期、青年心理学についての理解を深めること 2青年心理学の研究パラダイムについて理解すること 3青年の発達を理解するための多様な観点を身につけること 発展的には、青年の発達に関する学習を通して、青年に対する理解と支援の水準を向上させること。 このために、青年心理学に関する重要な文献を教材として、青年の発達に関する知見を深める。 | 小学校専修免許対応はR2年度以降の入学生のみ。 対面 | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) | |
| OATAB06 | 生涯学習論 | 1 | 2.0 | 1・2 | 春AB | 金3.4 | | 上田 孝典 | 社会教育・生涯学習に関する最新動向について学ぶことで、学齢期だけでなく人生を通じて教育や学習の意義と役割について理解を深める。具体的には、社会教育法の改正、地方自治体における社会教育・生涯学習行政の改編、学校と家庭・地域の連携をめぐる政策動向、ボランティアや市民活動などの市民セクターによる住民自治や地域づくり実践、社会教育施設や職員の実践などについて理解を深める。また、UNESCOをはじめとする諸外国の生涯学習や途上国におけるノンフォーマル教育の実践的展開を踏まえながら、SDGsをめぐる将来展望についても考察する。 | 対面 | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) | |
| OATAB11 | 学校の社会学 | 1 | 2.0 | 1・2 | 春AB | 木3.4 | | 徳永 智子 | 社会的カテゴリーの視点(階層、エスニシティ、ジェンダーなど)から国内外の教育政策・実践の可能性と課題について考察し、公正でインクルーシブな学校教育のあり方について議論を深めることを目的とする。具体的には、社会的包摂・排除、マジョリティ・マイノリティ、インターセクショナルリティ、差別と共生、統合と包摂、居場所、特権、当事者主権、多文化教育などのキーワードを掘り下げながら、マイノリティの視点から学校教育を問い直す。毎回、学生が文献に基づく報告をし、全員で討論する。 | 教室：8A202 対面 | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) | |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時間 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 | 科目等履修生申請可否 | 申請条件 | 開設 |
|---------|----------|------|-----|--------|------|------|-------|-------|--|--|------------|------|--------------------|
| OATAB13 | 学校経営事例研究 | 1 | 2.0 | 1・2 | 春AB | 火3,4 | | 佐藤 博志 | 「学校、学級の実態と課題はどうなっているのか」「日本の教育は諸外国に比べてどのような長所があり課題があるのか」「最新の教育理論（社会情動的コンピテンス、エージェンシー、ウェルビーイング）と制度運営原理（公正）はどのようになっているのか」—これらについて学ぶために、この授業では、教育政策、学校経営、学級経営、授業実践、カリキュラム開発の事例を検討する。国際的な視野を高め、教育行政、教育経営、教師の専門性、学校と学級のマネジメント、カリキュラムの理論と変革に関する知識と考察力を習得する。学校現場の実態を検討するとともに、学校研究の方法についても随時言及する。 | 小学校専修免許対応はR2年度以降の入学生のみ。 対面 教育学学位プログラムのどのサブプログラムの学生の受講も歓迎します。授業の使用言語は日本語です。 教室：人間BS12（学校経営調査室） | | | 教育学学位プログラム（博士前期課程） |
| OATAB14 | 学習指導と授業 | 1 | 2.0 | 1・2 | 春AB | 金5,6 | | 樋口 直宏 | 授業中の教師や児童・生徒の行動や思考を観察・分析することによって、すぐれた授業および指導方法の特徴について考察することを目的とする。これらを通して、授業を科学的に把握するための基礎的能力を育成したい。 本科目では、授業を構成する諸要素について、先行研究を参考にしながらその概念を検討する。また、授業分析の歴史をはじめ、今日における授業分析法、刺激回想法、参与観察法等の諸方法を習得する。必要に応じて、小・中・高等学校等において観察や記録を行う機会を設けるとともに、これまでのVTRや授業記録も活用する。 | 小学校専修免許対応はR2年度以降の入学生のみ。 対面 教室：BA202 | | | 教育学学位プログラム（博士前期課程） |
| OATAB15 | 学習と学級の心理 | 1 | 2.0 | 1・2 | 秋AB | 集中 | 8B210 | | 学習のプロセスを現代の学習科学の基礎となる理論研究に基づいて理解し、自らの授業実践にいかすことができるようにすることを目標とする。そのため、学習心理学研究の領域では古典といえるL.S.ヴィゴツキーの教育・発達理論から教室での学習について考える。単なる座学ではなく、様々な事例や課題を議論しながら理論知と実践知を接続し、学校現場における多様な現象を生産的に読み解く視点を鍛える。 | 小学校専修免許対応はR2年度以降の入学生のみ。 2024年度限り開講 対面 | | | 教育学学位プログラム（博士前期課程） |

専門基礎科目(学校教育・英語教育)

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時間 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 | 科目等履修生申請可否 | 申請条件 | 開設 |
|---------|-----------|------|-----|--------|------|------|----|--------|---|---|------------|------|--------------------|
| OATAH01 | 英語教育研究方法論 | 1 | 2.0 | 1・2 | 春AB | 火5,6 | | 名畑目 真吾 | 英語教育研究におけるデータの収集や解析などの方法論について理解を深めることを目的とし、統計の基礎知識から様々な量的分析の方法を学び、統計ソフトによって実践できることを目指す。具体的には、記述統計及び推測統計の基礎知識や、相関分析、t検定、分散分析、因子分析といった外国語教育研究で広く用いられている統計手法について学ぶ。さらに、統計フリーソフトについても扱い、基礎的な統計手法や応用的な使用方法までをRで行うことができるようにする。 | 西暦偶数年度開講。 対面 状況によりオンライン（同時双方向型）に変更の可能性あり。 統計分析やデータ解析に関心があれば、他分野の学生の受講も受け入れる。 | | | 教育学学位プログラム（博士前期課程） |
| OATAH02 | 英語教育学習論 | 1 | 2.0 | 1・2 | 秋AB | 金3,4 | | 名畑目 真吾 | 第二言語の習得や処理に関する書籍や文献を講読し、第二言語習得の特徴やその指導法について理解・議論する。具体的には、構文学習や用法基盤モデルといった近年注目されている言語習得理論を中心に様々な研究成果を総括し、指導への示唆を理解する。また、そのような先行研究によって得られた知見をもとに国内の小学校、中学校、高等学校における英語教育の実践について理論的・批判的に捉え、英語教育の理論と実践について自身の考えを深めることを目指す。 | 西暦偶数年度開講。 対面 | | | 教育学学位プログラム（博士前期課程） |
| OATAH03 | 英語教育内容論 | 1 | 2.0 | 1・2 | 春AB | 応談 | | 名畑目 真吾 | 第二言語理解や処理における特定の技能や要因に関する書籍・文献を講読し、第二言語理解や処理、その指導法について理解・議論する。具体的には、リーディングであればその認知処理や動機づけ、指導とカリキュラム、評価方法などについて扱う。また、そのような先行研究によって得られた知見をもとに国内の小学校、中学校、高等学校における英語教育の実践について理論的・批判的に捉え、英語教育における特定の技能や要因に関する自身の考えを深めることを目指す。 | 現職1年生プログラムの学生に限る。 対面 | | | 教育学学位プログラム（博士前期課程） |
| OATAH04 | 英語教育実践論 | 1 | 2.0 | 1・2 | 秋AB | 応談 | | 名畑目 真吾 | 英語教育の実践的な知識を学び、多様な指導環境や児童・生徒の学びの特徴について理解する。具体的には、国内の小学校、中学校、高等学校における英語教育の目標や教材について理解するとともに、各校種の授業見学あるいは映像視聴を行い、より良い英語授業の実践について理論的・批判的に自身の考えを深める。そして、模擬授業の設計、実施、振り返りを通して、各校種の英語の授業づくりと実践に必要な知識と技術を身に付けることを目指す。なお、学校現場への授業見学を行う場合は開講曜時間によらないので留意すること。 | 現職1年生プログラムの学生に限る。 対面 | | | 教育学学位プログラム（博士前期課程） |

専門基礎科目(学校教育・芸術科教育)

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時間 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 | 科目等履修生申請可否 | 申請条件 | 開設 |
|---------|----------|------|-----|--------|------|-----|--------|-------|---|-----------|------------|------|--------------------|
| OATAJ01 | 芸術科教育特講a | 1 | 1.0 | 1・2 | 春AB | 水3 | 芸術B234 | 石崎 和宏 | 芸術教育に関する基本文献を講読して今日的な課題を概観し、その解決のためのさまざまなアプローチを理解することができること、特に、芸術教育に関する学会誌に掲載された論文をレビューし、その方法論の特徴、成果と課題を明確化できることを目標とする。そのために、『美術教育学』等の学会誌論文の中から、芸術教育におけるディープリソフや今日的課題、〈新しい能力〉概念と芸術教育、芸術教育における能力観、芸術教育におけるイメージリテラシー、学習科学と芸術教育等に関わるテーマを選び、その目的、方法、結果を要約し、そこから発展する問いを提案し議論する。また、各自がレビューした論文や授業で取り扱った論文を総括して考察する。 | 西暦偶数年度開講。 | | | 教育学学位プログラム（博士前期課程） |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時間 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 | 科目等履修生申請可否 | 申請条件 | 開設 |
|---------|----------|------|-----|--------|------|-----|--------|-------|--|-----------|------------|------|--------------------|
| OATAJ02 | 芸術科教育特講b | 1 | 1.0 | 1・2 | 秋AB | 水3 | 芸術B234 | 石崎 和宏 | 芸術教育に関する基本文献を講読して今日的な課題を概観し、その解決のためのさまざまなアプローチを理解することができること、特に、芸術教育に関する学会誌に掲載された論文をレビューし、その方法論の特徴、成果と課題を明確化できることを目標とする。そのために、『美術教育学』等の学会誌論文の中から、描画表現における発達・表現・鑑賞学習への影響づけ、芸術学習における転移、芸術学習におけるメタ認知、鑑賞スキルとその発達等に関わるテーマを選び、その目的、方法、結果を要約し、そこから発展する問いを提案し議論する。また、各自がレビューした論文や授業で取り扱った論文を総括して考察する。 | 西暦偶数年度開講。 | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAJ05 | 芸術鑑賞論a-1 | 1 | 1.0 | 1・2 | 春AB | 火3 | 芸術B234 | 石崎 和宏 | 芸術鑑賞の教育研究に関わる先行文献をレビューし、それらで検討された具体的な研究方法と得られた知見について考察し、鑑賞教育研究の多面的な方法を理解することを目標とする。そのために、芸術鑑賞に関わる各自のリサーチエッセイに基づいた独自の調査方法をパイロットスタディとして開発し、その分析結果と考察を発表し、レポート(論文形式)でまとめる。 | 西暦偶数年度開講。 | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAJ06 | 芸術鑑賞論a-2 | 1 | 1.0 | 1・2 | 秋AB | 火3 | 芸術B234 | 石崎 和宏 | 人々は芸術作品をどのように理解するのかという問いにかかわる先行研究の検討や事例分析を通して、芸術鑑賞に関する方角的な知見を習得し、それらの知見を活用した芸術教育での学習方策を開発できることを目標とする。そのために、芸術作品の鑑賞プロセスでの思考や概念の変化を事例ごとにマッピングし、パーソンズ(Parsons, M.)の発達理論と対比しつつ、芸術鑑賞におけるスキルやメタ認知のとらえ方について、鑑賞文からのスキル分析や鑑賞における思考の構造化の視点から検討し、芸術教育における実践への具体化を考察する。 | 西暦偶数年度開講。 | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |

専門基礎科目(国語教育)

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時間 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 | 科目等履修生申請可否 | 申請条件 | 開設 |
|---------|---------|------|-----|--------|------|-----|----|-------|--|--|------------|------|--------------------|
| OATAD01 | 国語科教育学a | 1 | 1.0 | 1・2 | 春AB | 木5 | | 勝田 光 | 国語科の目標、内容、方法に関する研究水準に基づいて、今日的な課題について討議を行い、解決策を検討する。具体的には、国語学習指導の意義、国語科の目標と内容、学習者の把握と指導計画作成の観点、話すこと・聞くことに関する授業づくりの方法、書くことに関する授業づくりの方法、読むことに関する授業づくりの方法、伝統的な言語文化と国語に関する事項の内容、国語科における評価の方法、国語科をとりまく課題について討議する。 | 西暦偶数年度開講。 対面 教室：人間B427 | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAD02 | 国語科教育学b | 1 | 1.0 | 1・2 | 秋AB | 木5 | | 勝田 光 | PISA、全国学力・学習状況調査などの評価方法、また、アクティブ・ラーニングなど、現在の国語教育を取り巻く問題を取り上げて関連資料に基づき討議を行い、対応策を検討する。具体的には、PISA2000のもたらした課題、全国学力・学習状況調査、高等学校・大学の入試問題、読解力向上プログラムの背景、「新しい学力観」の痛楚、学校教育における言語活動の位置づけをめぐる議論、アクティブ・ラーニングの諸問題、FD活動の課題などについて討議する。 | 西暦偶数年度開講。 対面 教室：人間B427 | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAD07 | 表現教育論a | 1 | 1.0 | 1・2 | 春AB | 水6 | | 長田 友紀 | 国語教科書における表現領域の教材を確認したうえで、表現トレーニングを受講することで各自の表現のスキルや能力を向上させる。具体的には、言語表現論の概説、国語教育における言語表現、教科書に見る言語表現(話すこと・聞くこと)、教科書に見る言語表現(書くこと)、言語表現トレーニング(話すこと)の基礎、言語表現トレーニング(話すこと)の応用、言語表現トレーニング(書くこと)の基礎、言語表現トレーニング(書くこと)の応用、言語表現の振り返りの方法などについて討議する。 | 実地指導を含む。 西暦偶数年度開講。 対面 教室：人間B427 | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAD08 | 表現教育論b | 1 | 1.0 | 1・2 | 秋AB | 水6 | | 長田 友紀 | 日本における表現教育の主要な事例を歴史的に振り返った上で、特に大村はま実践における事例を討議する。具体的には、言語表現に関する実践事例(戦前)、言語表現に関する実践事例(昭和)、言語表現に関する実践事例(平成)、大村はまにみる表現教育の方法(スピーチ)、大村はまにみる表現教育の方法(インタビュー)、大村はまにみる表現教育の方法(話し合い)、大村はまにみる表現教育の方法(説明的文章)、大村はまにみる表現教育の方法(文学的文章)、大村はまにみる表現教育の方法(総合的な単元)について討議する。 | 西暦偶数年度開講。 対面 教室：人間B427 | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAD11 | 古典教育論a | 1 | 1.0 | 1・2 | 春AB | 月3 | | 石塚 修 | 国語科教育、とくに中等教育における古典に関する教育についての基礎的な知見を身につけ、中等教育の教員として求められる資質を高める。具体的には古典とはなにか(概説)、古典とはなにか(問題点)、古典を教育することの意義(古文)、古典を教育することの意義(漢文)、中学校における古典教育(古文)、中学校における古典教育(漢文)、高等学校における古典教育(古文)、高等学校における古典教育(漢文)などについて討議する。 | 実地指導を含む。 西暦偶数年度開講。 対面 教室：人社A202 | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAD12 | 古典教育論b | 1 | 1.0 | 1・2 | 秋AB | 月3 | | 石塚 修 | 国語教育における古典分野について教員としてふさわしい指導方法・指導内容を身につける。具体的には、古典とはなにか(概説)、古典とはなにか(問題点)、古典を教育することの意義(古文)、古典を教育することの意義(漢文)、中学校における古典教育(古文)、中学校における古典教育(漢文)、高等学校における古典教育(古文)、高等学校における古典教育(漢文)について応用的な視点から討議する。それらをもとに古典分野についてふさわしい教員像について考察する。 | 実地指導を含む。 西暦偶数年度開講。 対面 | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時間 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 | 科目等履修生申請可否 | 申請条件 | 開設 |
|---------|--------------|------|-----|--------|------|-----|----|--------|--|-----------------------------------|------------|------|--------------------|
| OATAD13 | 国語科リテラシー教育論a | 1 | 1.0 | 1・2 | 春AB | 火2 | | 島田 康行 | 国語教科書の教材を対象として、リテラシー教育の考え方について実践的に学ぶ。具体的には国語教育におけるリテラシーの考え方、学習指導要領にみるリテラシー教育の思想、国語教科書にみるリテラシー教育の可能性、「話すこと・聞くこと」の教材研究(1)中学校教科書から、「話すこと・聞くこと」の教材研究(2)高校教科書から、「書くこと」の教材研究(1)中学校教科書から、「書くこと」の教材研究(2)高校教科書から、「読むこと」の教材研究(1)中学校教科書から、「読むこと」の教材研究(2)高校教科書から、リテラシー教育の考え方に立つ国語教育の在り方などについて概観する。 | 対面 | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAD14 | 国語科リテラシー教育論b | 1 | 1.0 | 1・2 | 秋AB | 火2 | | 島田 康行 | 教材開発の視点と方法を学び、国語科各領域のリテラシー教材開発を実践的に学ぶ。具体的には、リテラシー教育における教材の機能と役割、教材開発の観点と方法、「話すこと・聞くこと」の教材開発(1)プレゼンテーション、「話すこと・聞くこと」の教材開発(2)メディアの活用、「書くこと」の教材開発(1)説明と描写における修辞、「書くこと」の教材開発(2)論じるといふこと、「読むこと」の教材開発(1)近現代の文学的文章、「読むこと」の教材開発(2)古文・漢文、「読むこと」の教材開発(3)「実用的な文章」、総括「リテラシー教育の考え方に立つ教材開発のこれからについて討議する。 | 対面 | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAD22 | 古典日本語論1a | 1 | 1.0 | 1・2 | 春AB | 応談 | | 菊池 そのみ | 高校で学んだ古典文法を、実例を確認し再検討することで、暗記ではない過去の日本語の実態に迫る。 | 対面 | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAD23 | 古典日本語論1b | 1 | 1.0 | 1・2 | 秋AB | 金2 | | 菊池 そのみ | 原本コピーを講読しながら、文献資料の扱い方、語学的な問題のとり方、狂言という芸能に関する知識など、日本語研究の基本的な事項にふれてゆく。 | 対面 | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAD25 | 古典日本語論11b | 2 | 1.0 | 1・2 | 秋AB | 木3 | | 橋本 修 | 文法に重点をおいた、日本語史の基本的概念、基本的知識の習得、定着を行ったのち、応用的な議論を行う。具体的には、国語教育と情報教育(ガイダンス)、規範的な日本語と実際の日本語、コーパスと日本語の分析、各種日本語コーパスとその利用法について、国語教科書に記載された文法事項の記述の検証(分担報告を含む)、国語教科書に記載された表記事項の記述の検証(分担報告を含む)、教科書の使用指針に関する分析(分担報告を含む)、日本語教科書の記述の検証(分担報告を含む)、国語辞書の記述内容の検証(分担報告を含む)について討議する。 | オンライン(同時双方向型) | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAD30 | 日本文学研究1a | 1 | 1.0 | 1・2 | 春AB | 木4 | | 吉森 佳奈子 | 『源氏物語』注釈史が、諸本の問題に不可分にかかわることを具体的に見、異文発生がケアレスではなく、必然として生じた問題についてあきらかにすることをこころみる。異文が思想的な問題を考察する糸口にもなり得ることについて解説する。具体的には『源氏物語』注釈史概説(古注)、『河海抄』、『源氏物語』注釈史概説(旧注)、『花鳥余情』、『源氏物語』注釈史概説(旧注)、連歌師、中世における『源氏物語』享受、能、『源氏物語』の諸本などについて討議する。 | 場所は中央図書館古典籍室 西暦偶数年度開講。 対面 | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAD34 | 日本文学演習1a | 2 | 1.0 | 1・2 | 春AB | 木6 | | 馬場 美佳 | 日本近代文学のうち主に明治期の文学について学ぶ。対象とする作品について、担当者が語釈・注釈・先行研究の調査を行い、それに基づいて当該作品の文学的価値や諸問題について、全体で討議を行う。 | 西暦偶数年度開講。 対面 教室：人社A205 | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAD35 | 日本文学演習1b | 2 | 1.0 | 1・2 | 秋AB | 木6 | | 馬場 美佳 | 日本近代文学のうち主に大正期の文学について学ぶ。対象とする作品について、担当者が語釈・注釈・先行研究の調査を行い、それに基づいて当該作品の文学的価値や諸問題について、全体で討議を行う。 | 西暦偶数年度開講。 対面 教室：人社A205 | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAD40 | 中国文学研究a | 2 | 1.0 | 1・2 | 春AB | 火5 | | 稀代 麻也子 | 『芸文類聚』所収の詩文を読む。 | 西暦偶数年度開講。 対面 教室：中央図書館セミナー室D | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAD41 | 中国文学研究b | 2 | 1.0 | 1・2 | 秋AB | 火5 | | 稀代 麻也子 | 『芸文類聚』所収の南北朝の作品を読む。 | 西暦偶数年度開講。 対面 | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |

専門基礎科目(数学教育)

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時間 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 | 科目等履修生申請可否 | 申請条件 | 開設 |
|---------|-------|------|-----|--------|------|--------|-------|--------------------------------|--|----|------------|------|--------------------|
| OATAF01 | 基礎数学A | 1 | 1.0 | 1・2 | 春A | 水5.6 | 1E202 | 増岡 彰, 塩谷 真弘, 木下 保, 照井 章 | 高等学校で学ぶ数学をより高い視点から深く理解し、自在に活用できる知識と技能を身に付けることを目標として、1変数関数の微分積分学や、ベクトルと行列の理論について現代数学の立場から捉えなおす。 | | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAF02 | 基礎数学B | 1 | 1.0 | 1・2 | 春B | 水5.6 | 1E202 | 塩谷 真弘, 増岡 彰, 木下 保, 照井 章 | 基礎数学Aの内容を前提として、引き続き微分積分学および線形代数の理論を現代数学の視点から捉えなおす。さらに、集合と写像の基本的な事項のような抽象的な内容も扱い、数学的な考え方をさまざまな場面で活用する力を身に付けることも目標とする。 | | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAF03 | 基礎数学C | 1 | 1.0 | 1・2 | 春C | 水5.6 | 1E202 | 塩谷 真弘, 増岡 彰, 木下 保, 照井 章 | 基礎数学A・Bの内容を前提として、引き続き微分積分学および線形代数の理論を現代数学の視点から捉えなおす。実数論の基礎や抽象ベクトル空間論のような、体系的な理論の学習を通じて、論理的に考え判断する能力を獲得することを旨とする。 | | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAF04 | 総合数学A | 2 | 1.0 | 1・2 | 秋A | 水3.4 | 1E202 | 竹山 美宏, 木下 保, 照井 章, 塩谷 真弘, 増岡 彰 | 数学のより深い理解を目指して、中学校および高等学校で学ぶ数学に関連する興味深いテーマについて専門的に学習する。講義および演習を行い、数学的な内容を表現する能力を身に付けることも目標とする。 | | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAF05 | 総合数学B | 2 | 1.0 | 1・2 | 秋B | 水・金4 | 1E202 | 竹山 美宏, 木下 保, 照井 章, 塩谷 真弘, 増岡 彰 | 数学のより深い理解を目指して、線形代数や微分積分学など、大学初年級で学ぶ数学に関連する話題についてより高い視点から論じる。演習も行い、やや高度な議論を正確に展開する能力を身に付けることも目標とする。 | | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAF06 | 総合数学C | 2 | 1.0 | 1・2 | 秋C | 水4, 金5 | 1E202 | 竹山 美宏, 照井 章, 木下 保, 塩谷 真弘, 増岡 彰 | 数学のより深い理解を目指して、現代的な代数学・幾何学・解析学・情報数学におけるやさしい話題を取り上げ、講義および演習を行う。この学習を通じて数学的な思考の有用性を理解し、創造性を養うことも目標とする。 | | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 | 科目等履修生申請可否 | 申請条件 | 開設 |
|---------|-------------|------|-----|--------|-----------|------------|--------|----------------------|--|-----------------|------------|------|--------------------|
| OATAF07 | 現代数学基礎A | 1 | 1.0 | 1・2 | 秋A | 月3,4 | 1E202 | 川村 一宏, 木村健一郎, 竹山 美宏 | 現代数学において重要なトピックを取り上げ、講義・演習を行う。現代数学の諸分野を概観し、バランスの取れた数学観を身につけることを目標とする。 | | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAF08 | 現代数学基礎B | 1 | 1.0 | 1・2 | 秋B | 月3,4 | 1E202 | 川村 一宏, 木村健一郎, 竹山 美宏 | 中学校および高等学校で学ぶ数学とつながる現代数学の話題について講義や演習を行う。やや高度な内容を主体的に学ぶことによって、より高い数学観を得ることを目指す。 | | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAF09 | 現代数学基礎C | 1 | 1.0 | 1・2 | 秋C | 月3,4 | 1E202 | 川村 一宏, 木村健一郎, 竹山 美宏 | 現代数学における興味深いテーマについて、講義・演習によって基礎から発展まで体系的に学ぶ。論理的な思考力や時間をかけて考え抜く力を養い、積極的に活用できるようになることを目標とする。 | | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAF10 | 現代数学特別研究A | 2 | 1.0 | 1・2 | 春A | 金4,5 | 1E202 | 竹山 美宏, 木村健一郎, 川村 一宏 | 数学のより幅広い理解を目指していくつかの主題について専門的に講義し、併せて数学的内容の説明の仕方について学ぶため、学生の発表および発表後のレポートをもとにして数学のわかりやすい題材を取り扱う。 | | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAF11 | 現代数学特別研究B | 2 | 1.0 | 1・2 | 春B | 金4,5 | 1E202 | 竹山 美宏, 木村健一郎, 川村 一宏 | 現代数学特別研究Aを前提として、数学のより幅広い理解を目指す。いくつかの主題について専門的に講義し、併せて数学的内容の説明の仕方について学ぶため、学生の発表および発表後のレポートをもとにして数学のやや進んだ題材を取り扱う。 | | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAF12 | 現代数学特別研究C | 2 | 1.0 | 1・2 | 春C | 金4,5 | 1E202 | 竹山 美宏, 木村健一郎, 川村 一宏 | 現代数学特別研究A・Bの内容を前提として、数学のより幅広い理解を目指す。いくつかの主題について専門的に講義し、併せて数学的内容の説明の仕方について学ぶため、学生の発表および発表後のレポートをもとにして数学の発展的な題材を取り扱う。 | | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAF13 | 現代数学特別研究D | 2 | 1.0 | 1・2 | 通年 | 応談 | | 木村 健一郎, 竹山 美宏, 川村 一宏 | 基礎数学A・B・Cおよび現代数学特別研究A・B・Cの内容を前提として、数学の幅広い理解を目指す。いくつかの主題について専門的に講義し、併せて数学的内容の説明の仕方について学ぶため、学生の発表および発表後のレポートをもとにして数学のより進んだ話題を取り扱う。 | | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAF14 | 現代数学特別研究E | 2 | 1.0 | 1・2 | 通年 | 応談 | | 木村 健一郎, 竹山 美宏, 川村 一宏 | 基礎数学A・B・Cおよび現代数学特別研究A・B・C・Dを前提として、数学のより幅広い理解を目指す。いくつかの主題について専門的に講義し、併せて数学的内容の説明の仕方について学ぶため、学生の発表および発表後のレポートをもとにして数学のやや高度な話題を取り扱う。 | | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAF15 | 現代数学特別研究F | 2 | 1.0 | 1・2 | 春C | 集中 | | 木村 健一郎, 竹山 美宏, 川村 一宏 | 現代数学の高度な話題について、講義・問題演習・輪講などを通して基本的な内容から学習し、数学をより幅広く理解することを目標とする。 | | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAF16 | 数学教育研究方法論 | 1 | 2.0 | 1・2 | 春AB | 木1,2 | 人間A426 | 清水 美憲 | 数学教育における教授・学習に関する研究方法の理論的前提や認識論的立場について、研究事例の批評を通して検討する。授業の後半では、質的データの採取及び分析における前提、手法の意義と限界について学ぶとともに、最近のいくつかの研究事例について批判的に検討する。授業の後半では、数学科授業の分析に焦点化し、「国際比較研究」学習者の観点からの授業分析(LPS)による授業・インタビュアーデータの分析を事例として、数学科の授業の実証的研究における質的研究方法の意義と限界を探る。 | | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAF17 | 数学教育学習論 | 1 | 2.0 | 1・2 | 秋AB | 木3,4 | 人間A426 | 清水 美憲, 磯田 正美 | 1970年代から今日までいたる数学の学習に関する実証的研究の動向についてのその概略を講義するとともに、各時代の研究論文を読んで、その研究方法および知見を知る。特に、数学学習における内的理解と外的理解の問題、手続き的知識と概念的知識の関係及びその乖離の問題、数学の問題解決過程と数学学習の問題、数学の信念システムやメタ認知の問題、そして教室における学習と社会的・数学的規範の役割、学習における文化的要因の影響を中心に研究事例を検討する。 | | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAF18 | 数学教育カリキュラム論 | 1 | 2.0 | 1・2 | 秋AB 秋B | 火3,4 集中 | 人間A426 | 蒔苗 直道, 小松 孝太郎, 磯田 正美 | 数学教育におけるカリキュラム開発について、文献講義を通して考察する。この過程で、数学教育研究における基礎的用語や基本概念を理解するとともに、数学の指導内容やその取扱いについて学習する。また、数学のカリキュラムの構成原理や数学教育思想など幅広い視点からの考察を行い、日本の学習指導要領の変遷や海外のスタンダード、ナショナルカリキュラムなど実際の数学のカリキュラムを対象に、その学術的な分析や考察ができるように、数学教育研究の基礎としてカリキュラム開発の理解を深める。 | | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAF19 | 数学教育内容論 | 1 | 2.0 | 1・2 | 秋B 秋C | 木2 集中 | 人間A426 | 磯田 正美, 宮川 健, 川崎 宣昭 | 数学者、数学史、数学教育の三領域において突出した業績をあげたH. Freudenthalの数学的活動論を前提に、数学化を解説し、再組織化による指導系統こそが、教育課程の系統をなすことを確認する。そこでは内容上の矛盾が現れ、生徒のつまずき、それを解消する弁証法的対話も起こり得る。本講義では、内容にかかわる研究成果と教科書分析を通して、小学校から高等学校までの算数・数学教材を深める。 | いずれも1限-5限 対面 | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |

専門基礎科目(理科教育)

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 | 科目等履修生申請可否 | 申請条件 | 開設 |
|---------|--------|------|-----|--------|------|-----|----|---------------------|---|--|------------|------|--------------------|
| OATAG06 | 基礎物理学1 | 1 | 1.0 | 1・2 | 春AB | 月3 | | 森下 将史 | 教育現場における生徒の物理学への苦手意識払拭の一助として、理科教員を目指す学生に物理学の面白さを伝えることを目的とした講義を行う。物質の成り立ち、光の性質、力学、熱力学、電磁気学、原子物理学、天文学、素粒子物理学、物性物理学などのテーマについて、まず、物理学における基本概念と基本法則の誕生と変遷に注目して講義を行う。また、この中で、中等教育では触れられない、高度ではあるが興味深い現象や概念についても講義を行う。 | 教室：8A202 | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |
| OATAG07 | 基礎化学1 | 1 | 1.0 | 1・2 | 春AB | 火2 | | 佐藤 智生, 一戸 雅聡, 長友 重紀 | 高校化学を教えるために必要な化学の基礎的な知識を修得できるように、周期表、原子と分子の構造、化学結合、物質と、気体の状態方程式、エンタルピー、物質の三態、溶液と固体の性質など化学の基礎となる項目を講義する。 | 基礎化学2も受講することが望ましい。 教室：8A202 教室に変更がある場合はmanabaにて通知する。 対面 | | | 教育学学位プログラム(博士前期課程) |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時間 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 | 科目等履修生申請可否 | 申請条件 | 開設 |
|---------|--------|------|-----|--------|------|-------|-------|---------------------|---|--|------------|------|------------------------|
| OATAG08 | 基礎生物学1 | 1 | 1.0 | 1・2 | 春AB | 火4 | | 中山 剛, 出川 洋介, 石川 香 | 分子生物学、形態、生殖、進化、分類、生態などの基礎生物学の内容を、中高生に分かりやすく説明できるようになる。また、基礎生物学分野の研究がもたらす社会的側面についても理解し、討論できるようにする。 | 教室：8A202 | | | 教育学学位プログラム (博士前期課程) |
| OATAG09 | 基礎地学1 | 1 | 1.0 | 1・2 | 春AB | 火5 | | 角替 敏昭, 上松 佐知子 | 理科の教員として必要な地学の基礎的な知識の習得のため、地球史、生命史、大陸形成の基礎的な内容について講義する。授業の前半は、生命の誕生以降の地球の歴史と生物の進化およびそれらの相互作用によって作られてきた地球表面史を俯瞰する。また基本的な化石標本の調査と処理および同定記載、ならびに生層序対比、古生物地理、機能形態解析、系統樹作成を含めた進化理論、化石成因論、古生態復元、古環境復元、化学化石分析などの具体的な研究例に基づき、実際の研究を行う上で必要な概念と手法を理解する。後半は、地球を構成する岩石のうち、特に火成岩と変成岩について、基礎的な分類から、その生成過程、起源、テクトニクス等に焦点を当てて講義する。本授業により、知識と理解力および問題解決能力を向上させる。 | 教室：8A202 | | | 教育学学位プログラム (博士前期課程) |
| OATAG10 | 基礎物理学2 | 1 | 1.0 | 1・2 | 秋AB | 月3 | | 矢花 一浩, 森 正夫 | 中等教育における物理学の教員が背景知識として習得していることが望ましい、高度ではあるが興味深い現象や概念について講義する。題材として、結晶構造、相対性理論、フーリエ変換、数の概念、準周期系、カオス、エントロピー、トポロジー、フラクタル、などを扱う。ここでは特に、物理学と密接な関わりをもつ数学との関係に注目し、数学者が作り上げた抽象的な概念を物理学者が如何に現実の現象に応用してきたかを講義し、高度な現象や概念の理解を目指す。 | | | | 教育学学位プログラム (博士前期課程) |
| OATAG11 | 基礎化学2 | 1 | 1.0 | 1・2 | 秋AB | 火2 | | 佐藤 智生, 一戸 雅聡, 長友 重紀 | 高校化学を教えるために不可欠な化学の基礎的な知識を習得できるように、基礎化学1に引き続き、化学平衡、酸塩基、緩衝作用、酸化還元、電池、化学熱力学、エントロピー、反応速度、活性化エネルギー、核化学、原子核、同位体、有機化学、立体化学、化学分析、クロマトグラフィーなど化学の基礎となる項目を講義する。 | 基礎化学1を受講していることが望ましい。教室に変更がある場合はmanabaにて通知する。 対面 | | | 教育学学位プログラム (博士前期課程) |
| OATAG12 | 基礎生物学2 | 1 | 1.0 | 1・2 | 秋AB | 月5 | | 澤村 京一, 八畑 謙介, 横井 智之 | 理科の教員として必要な生物学の基礎的な知識を習得するため、動物生態学、保全生態学、遺伝学、進化学、動物系統分類学、動物形態学の基礎的な内容について講義する。 | | | | 教育学学位プログラム (博士前期課程) |
| OATAG13 | 基礎地学2 | 1 | 1.0 | 1・2 | 春C | 月3, 4 | 8B409 | 興野 純, 藤野 滋弘 | 理科の教員として必要な地学の基礎的な知識の習得のため、地層学・層序学、鉱物学の基礎的な内容について講義する。授業の前半は堆積岩・堆積物の分類や生成過程、それに記録された情報を読み取る手法を講義する。また、様々な種類の層序学的手法を用いて地層を対比し年代の新旧を知る方法についても解説する。授業の後半では、石英・長石・かんらん石・輝石などの主要な造岩鉱物の性質や、炭酸塩岩や土壌を構成する各種鉱物の性質について講義する。本授業により、知識と理解力および問題解決能力を向上させる。 | | | | 教育学学位プログラム (博士前期課程) |

専門基礎科目(国際教育)

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時間 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 | 科目等履修生申請可否 | 申請条件 | 開設 |
|---------|--|------|-----|--------|------|-------|---------|--|---|--------------------------|------------|------|------------------------|
| OATAL16 | グローバル化と教育 | 1 | 2.0 | 1・2 | 秋AB | 金3, 4 | 人間 B520 | 菊地 かおり | グローバル時代の教育に影響を与える社会・政治理論について検討する。ナショナリズム、多文化主義、新自由主義、シテズンシップ等を鍵概念としながら、現代の教育改革との関わりにおいてその理論的潮流を把握する。授業の前半では、新自由主義と教育改革に関する文献を講義する。新自由主義に基づく考え方が、どのように教育改革や学校経営、授業実践に影響を及ぼしているのか、また世界各国でその潮流にどのような相違がみられるのかを検討する。授業の後半では、多文化主義・間文化主義などの多様性と統合に関する文献を講義する。多様な社会統合モデルを比較検討しつつ、人びとの多様性を包摂するような社会及び教育のあり方について検討する。 | 西暦偶数年度開講。 要望があれば英語で授業 | | | 教育学学位プログラム (博士前期課程) |
| OATAL18 | 国際教育協力論 | 1 | 2.0 | 1・2 | 秋AB | 集中 | | | 国際教育協力について「理論」と「実践」の両面から学習を深めていきたい。まず、国際教育協力に係る仕組みと理論を整理し、概念整理を実施していく。次に、世界的な国際教育協力の歴史的変遷を概観しながら、「垂直的な援助」から「水平的な協力」へと変化してきた実態を確認する。その後、日本の教育協力について、ODA(政府開発援助)大綱の改定も踏まえながら、全体的な仕組みやJICA(国際協力機構)の役割や機能を確認していく。実際に日本の国際教育協力事例を取り上げ、映像や資料を参照しながら具体的な教育課題について議論を深めていく。当該議論においては途上国の中でも、特に東南部アフリカの事例と東南アジアの事例を詳細に取り上げて議論を進めていく計画である。基本的な授業の進め方としては、担当教員の講義形式で実施するが、受講者には受け身の姿勢ではなく、積極的に議論に参加することを期待する。 | 西暦偶数年度開講。 | | | 教育学学位プログラム (博士前期課程) |
| OATAL22 | Education in Japan: Principles Policies and Practice | 1 | 1.0 | 1・2 | 春AB | 月4 | 人間 A425 | 菊地 かおり, 梅津 静子, 藤田 晃之, 清水 美恵, 佐藤 博志, 田中正弘, 徳永 智子, タスタンベコワ アニシ, 山本 容子, 古田 雄一 | 現代日本の教育をめぐる論点を政策、制度、実践といった多角的な視点から理解し、またその課題について十分な知識をもとに議論することができるようになることを目標とする。授業では、日本の教育をめぐるさまざまなテーマを取り上げ、その原理、政策、実践を概説する。具体的には、教育制度、学校経営、数学教育、理科教育、社会科教育、言語教育政策、道徳教育、特別支援教育、高等教育をテーマとし、近年の改革動向とその課題を提示する。授業の内容をもとに討論を行い、論点についての理解を深める。なお、主として英語で授業を行う。 | 英語で授業。 | | | 教育学学位プログラム (博士前期課程) |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時間 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 | 科目等履修生申請可否 | 申請条件 | 開設 |
|---------|----------------------------------|------|-----|--------|------|-----|--------|--|--|---|------------|------|------------------------|
| OATAL23 | Frontier of Educational Research | 1 | 1.0 | 1・2 | 秋AB | 月3 | 人間A425 | 佐藤 博志, 梅津 静子, 古田 雄一, 藤田 晃之, 徳永 智子, 遠藤 俊介, 菊地 かおり | 教育学の研究に関する動向と最前線に関して論議を行う。特に、国際的な動向を考慮して、解説と討議を行う。課題の発表や協働学習も行う。国際的に用いられている教育学の概念の検討、授業研究、社会学的研究、国際機関や諸外国の教育施策、学校経営やキャリア教育の国際比較、日本の教育実態に関する海外への発信、教育の実践の分析といったトピックについて学び、受講生の知識と研究能力を向上する。 | 授業の使用言語：英語（ただし日本語による補足解説あり） この授業は英語で行われるが、日本語による解説も受講者の希望やニーズに応じて加えられる。このため、英語話者だけではなく、日本語話者の授業の履修も推奨される。研究成果の海外における発表を希望する学生は受講してほしい。国際教育SPの学生だけでなく、教育基礎科学SP、次世代学校教育創成SP、博士後期課程の学生の履修も歓迎する。 英語で授業。 | | | 教育学学位プログラム (博士前期課程) |

心理学学位プログラム(博士前期課程)

専門科目

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 | 科目等履修生申請可否 | 申請条件 | 開設 |
|---------|-------------------------------------|------|-----|--------|------|------|----|--------|--|--------------------------------------|------------|------|------------------------|
| OATB060 | 心理統計学基礎 | 1 | 2.0 | 1 | 春AB | 金7.8 | | 藤 桂 | 社会科学における統計学の用い方の基礎を解説する。本講義は、「社会調査法」「データ解析法」履修のための基本要件である。 | 01EJ115、OATD321と同一。 オンライン(同時双方向型) | | | 心理学学位プログラム (博士前期課程) |
| OATB082 | 行動デザイン特講 | 1 | 2.0 | 1・2 | 秋AB | 火5.6 | | 松田 壮一郎 | 人間行動の記述、予測、制御を目的とした応用行動分析学を中心に据え、「行動」の機能を分析することを達成目標とする。また、最新の先端研究を行動分析的観点から読み解くことにより、新たな研究パラダイムを創出することも目的とする。行動変容に用いることができる最新のテクノロジーを概観すると共に、他分野(医学・工学など)との協働を通じた新しい研究、及びビジネスの可能性を、ディスカッションを通じて探っていく。他分野との協働により、人の行動変容について、新たな視点を提供する、行動のデザインを共に創造していく。 | 対面 | | | 心理学学位プログラム (博士前期課程) |
| OATB085 | 計量心理学特講 | 1 | 2.0 | 1・2 | 春AB | 金1.2 | | 山口 一大 | 計量心理学・心理統計学に関する英語論文・洋書等を輪読し、計量心理学・心理統計学への理解を深め、自身の研究に活かせるようにする。受講生は、英語論文を選択し(洋書の場合には割り当てられた章について)、内容を適切に要約したレジュメを作成し、発表を行い、受講者全員で議論を行う。自分が発表する回以外であっても、発表される文献を熟読し、理解できた点のみならず、疑問点やわからなかった点を整理して講義に臨む。 | オンライン(同時双方向型) | | | 心理学学位プログラム (博士前期課程) |
| OATB091 | 社会心理学特講 | 1 | 2.0 | 1・2 | 秋AB | 木3.4 | | 川上 直秋 | 社会心理学に関する最近5年以内に掲載された英語論文を受講生が紹介し、この分野についての理解を深め、受講生の研究テーマへの適用可能性を探る。受講生は、自分の研究テーマに関連のある社会心理学論文を選び、過去の理論的背景も含めたレジュメを作成・発表する。それに基づき、ほかの受講生と議論を行い、社会心理学の方法論・理論の習得を目指す。 | 対面 | | | 心理学学位プログラム (博士前期課程) |
| OATB134 | キャリアカウンセリング特講(産業・労働分野に関する理論と支援の展開X) | 1 | 2.0 | 1・2 | 秋AB | 土4.5 | | 岡田 昌毅 | キャリア・カウンセリングの基礎である「キャリアの心理学」を概説し、その理論的背景であるキャリア関連の諸理論・アプローチを紹介する。さらに実際のキャリア・インタビューを通じて、諸理論・アプローチの現実への応用についてグループ毎に整理し、全体発表・討議を実施する。 | 01EJ110、OATD308と同一。 対面 | | | 心理学学位プログラム (博士前期課程) |

障害科学学位プログラム(博士前期課程)

専門科目(共通)_障害科学学位プログラム(博士前期課程)

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 | 科目等履修生申請可否 | 申請条件 | 開設 |
|---------|--------------|------|-----|--------|-----------|------------|----|------------------------|---|---|------------|------|---------------------|
| 0ATC1C1 | 知的・発達障害心理学特講 | 1 | 2.0 | 1・2 | 秋AB | 水3,4 | | 小島 道生 | 知的障害、自閉スペクトラム症、学習障害、ADHDなどについて、発達のメカニズムをふまえながら、認知、言語、記憶、情動といった心的機能の特性と、有効な指導法を講義する。また、知能検査を中心としたアセスメント結果を発達支援に結びつける考え方などについて、事例の検討も交えながら講義・演習を行う。 | 教室は人間A201。状況によってはオンライン(オンデマンド型・同時双方向型)を併用する可能性がある。実務経験教員。対面 | | | 障害科学学位プログラム(博士前期課程) |
| 0ATC1C2 | 知的・発達障害指導法特講 | 1 | 2.0 | 1・2 | 春AB 春C | 木1 木1,2 | | 岡崎 慎治,丹治 敬之 | 知的障害、発達障害の発達支援に必要な教育心理学および発達心理学の基礎について講義する。典型的な発達と知的障害、発達障害の異同について説明し、能力の水準に応じて考えるべき問題と、能力の水準に関係なく蓄積されている知識や経験の区別について講義する。さらに、知的障害、発達障害の能力の水準、認知能力の特徴に応じた適切な指導について理解する。 | 教室は人間A201。状況によってはオンライン(オンデマンド型・同時双方向型)を併用する可能性がある。実務経験教員。対面 | | | 障害科学学位プログラム(博士前期課程) |
| 0ATC1D1 | 行動障害指導法特講 | 1 | 2.0 | 1・2 | 秋AB | 木1,2 | | 佐々木 銀河,野呂 文行 | 行動障害に関する心理的特徴、アセスメント方法、指導計画の立案、指導法、指導の実際についての基礎的知識を講義するとともに、実践論文を取り上げ、その実際を提示する。特に行動論的立場からの指導法について講義する。 | 実務経験教員。対面 教室は人間A202。状況によってはオンライン(オンデマンド型・同時双方向型)を併用する可能性がある。 | | | 障害科学学位プログラム(博士前期課程) |
| 0ATC1D3 | 教育臨床発達援助論 | 1 | 2.0 | 1・2 | 春C | 集中 | | 丹治 敬之,野呂 文行 | 定型発達の児童生徒も含めて、教育臨床場面における児童生徒の発達支援の原理と方法についての理解を深める。教育臨床場面における課題に対して、アセスメントを実施し適切な援助計画を立案できる力を涵養する。 | (隔年開講、西暦偶数年度開講) 西暦偶数年度開講。実務経験教員。オンライン(オンデマンド型) | | | 障害科学学位プログラム(博士前期課程) |
| 0ATC1E1 | 障害学生支援学特講 | 1 | 1.0 | 1・2 | 春AB | 月5 | | 名川 勝,岡崎 慎治,小淵 千絵,小林 秀之 | 高等教育機関における障害学生支援に関わる理念ならびに関連法案について講述する。また、支援対象となる障害種(視覚、聴覚、運動、発達障害等)ごと、支援領域(時系列的理解、バリア解消、生活、就職ほか)ごとに支援方法を検討する。大学等の高等教育機関における障害学生の支援について、支援対象となる障害と支援のあり方について習得することを目標とする。また、障害学生や支援学生にも参加してもらい、障害学生支援について具体的な理解をはかる。学校教育場面において必要とされる臨床発達心理学的評価の諸方法について、その理論と具体的な技法について理解することを目標とする。 | 教室は人間A201 実務経験教員。対面 (オンライン併用型) | | | 障害科学学位プログラム(博士前期課程) |